

2026 年度 事業計画書



社会福祉法人 **太陽会**

2026.3.21 理事会（案）

使命・基本理念

■ 使命

Quality of Life への貢献

■ 基本理念

1. ご利用者の「生命の尊厳」と「人権の尊重」を最優先します。
2. 職員は「信頼と尊敬」の心を持ち、常に「研鑽と人間的成長」に努めます。
3. ご利用者との「相互理解」を深め、「信頼と共生」を価値観とします。
4. 地域社会への「参加」と地域医療・福祉への「貢献」を奨励します。

■ 職員の 5 つの心得

1. 生命は尊くかけがえない存在である。
2. 人間としてのあらゆる権利を尊重する。
3. 理想社会の実現に向けて、常に向上心を持ち続ける。
4. 常に充実感をもち、明るく行動する。
5. まず、私たちが幸福でなければ、良き医療・福祉サービスは提供できない。

目 次

2026年度 事業展開について	3
1. 事業所の概要	4
2. 配置	5
3. 中長期目標	6
4. プロジェクト	6
5. 会議	7
6. 研修	8
7. 特別養護老人ホームめぐみの里	9
8. 介護老人保健施設たいよう	11
9. ケアハウスまんぼう	13
10. 障害者支援施設しあわせの里	15
11. 障害福祉サービス事業所らんまん	17
12. 千葉県中核地域生活支援センターひだまり	19
13. 鴨川市福祉総合相談センター天津小湊	21
14. 安房地域医療センター	23
15. 訪問看護ステーションおひさま	25
16. 安房医療福祉専門学校	27
17. 安房医療福祉専門学校南房総校	29
18. 認定こども園 OURS	31
19. 認定こども園 OURS 館山	33
20. OURS baby	35
21. 家事代行サービスルアナ	37
22. 労働者派遣事業サンキャリ・有料職業紹介事業サンキャリ	39
23. パークウェルステイト鴨川	41
24. 亀田ホームクリニック幕張・亀田ホームケアサービス幕張	43

2026年度 事業展開について

はじめに

2026年は、60年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）の年です。前は1966年でしたが、当時は「丙午生まれの女性は気性が強く、夫を不幸にする」といった迷信が広まり、出生数が前年比で25%以上減少したことが社会問題となりました。しかし、これらの迷信は江戸時代の八百屋お七の逸話などがもとで生まれた、いわばフェイクニュースです。現代では「活気ある年」「新しい挑戦に適した年」と、丙午を前向きに捉える考え方が広がっています。太陽会もまた、高い志と情熱をもって、さまざまなチャレンジに取り組んでいきたいと考えています。

I. AI・DXによる社会の変化

社会全体では、AIやDXの進化により大きな変革が起こると予想されています。私たちもこれらの新しいテクノロジーを積極的に活用し、効率的で働きやすい環境を整えることが重要です。一方で、AIの発展によって人間に求められるスキルや必要とされる職業は大きく変化していくとも言われています。特に、医師・看護師・介護士・保育士・教師・カウンセラーといった医療・福祉・教育分野の職業は、AIに代替されにくい仕事の代表として挙げられています。これは、人の命や心に寄り添うために、深い共感力、臨機応変な対応力、そして信頼関係の構築が不可欠だからです。

II. 医療・介護業界の現状と課題

まさに太陽会の事業そのものと言えるこれらの領域ですが、同時に医療・介護業界は人手不足の深刻さでも常に上位に位置しています。確かに、私たちの仕事はAIによって大幅に代替できるものではありませんが、活用できる要素があるなら積極的に取り入れるべきだと考えています。決して保守的になるべきではありません。日々の業務が効率化され、少しでも負担が軽減されることは、結果としてサービス向上にもつながります。

III. これから求められる人間性

これまでの社会では知識が重視されてきましたが、これからはコミュニケーション能力、創造性、ホスピタリティ、責任感といった人間性がより評価される時代になるでしょう。今年も、太陽会の使命である「私たちは、すべての人々の幸福に貢献するために、常に愛とホスピタリティの心を大切に、ゆとりある理想社会の創造を使命とします」を胸に、職員一丸となって地域を支えてまいりたいと思います。

理事長 亀田 信介

1. 事業所の概要

事業所名	管理者	所在地	電話番号
特別養護老人ホームめぐみの里	茂木 修	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1222 番地 1	04-7098-1000
介護老人保健施設たいよう	西野 洋	〒296-0043 千葉県鴨川市西町 1011 番地 1	04-7093-7711
ケアハウスまんぼう	永井 広雄	〒296-0041 千葉県鴨川市東町 607 番地 1	04-7099-1331
障害者支援施設しあわせの里	和泉 悟	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1243 番地 2	04-7098-1110
障害福祉サービス事業所らんまん	鈴木 晃	〒296-0124 千葉県鴨川市大幡 1245 番地	04-7098-1800
千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	香田 道丸	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地 安房地域医療センター敷地内	0470-28-5667
鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊	石井 めぐみ	〒299-5503 千葉県鴨川市天津 163 番地 1	04-7094-5800
安房地域医療センター	福内 正義	〒294-0014 千葉県館山市山本 1155 番地	0470-25-5111
訪問看護ステーションおひさま	大友 可奈	〒294-0051 千葉県館山市山本 2423 番地 3	0470-29-7868
安房医療福祉専門学校	大塚 逸子	〒294-0007 千葉県館山市腰越 801 番地 1	0470-28-5100
安房医療福祉専門学校 南房総校	亀田 省吾	〒299-2712 千葉県南房総市和田町海発 1601 番地 1	0470-29-3700
認定こども園 OURS	米倉 里奈	〒296-0044 千葉県鴨川市広場 1726 番地 1	04-7099-0800
認定こども園 OURS 館山	米倉 和昭	〒294-0045 千葉県館山市北条 402 番地 1	0470-22-0700
企業主導型保育所 OURS baby	千束 静子	〒296-0044 千葉県鴨川市東町 601 番地 1 Sun OURS 2 階	04-7096-5800
亀田ホームクリニック幕張 亀田ホームケアサービス幕張	本山 哲也	〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3丁 目1番地 23	043-307-5735 043-307-8331

2. 配置

2026 年 4 月 1 日 職員配置予定数		事業所名	正社員	契約	非常勤	学生 アルバイト
本部	経営管理本部	事務	19	2	7	0
		給食	18	1	13	0
		労働者派遣事業サンキャリ	12	0	0	23
		パークウェルステイト鴨川	36	6	5	0
福祉	高齢者	特別養護老人ホーム めぐみの里	69	3	16	9
		介護老人保健施設たいよう	69	7	14	12
		ケアハウスまんぼう	4	0	3	2
	障害	障害者支援施設しあわせの里	41	2	13	8
		障害福祉サービス事業所 らんまん	15	3	14	3
	相談	千葉県中核地域生活支援センター ひだまり	5	1	0	0
		鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊	3	1	0	0
医療	病院	安房地域医療センター	453	54	106	13
	訪問看護	訪問看護ステーションおひさま	8	0	0	0
教育	看護	安房医療福祉専門学校	13	3	1	0
	介護 日本語	安房医療福祉専門学校 南房総校	6	3	1	0
子育て	こども園	認定こども園 OURS	53	6	30	6
		認定こども園 OURS 館山	47	1	8	3
	企業主導型保育所	企業主導型保育所 OURS baby	22	3	9	6
幕張	パークウェルステイト 幕張ベイパーク	亀田ホームクリニック幕張 亀田ホームケアサービス幕張	37	0	10	0
計			930	96	250	85

3. 中長期目標

競争から協調へ&所有から共有へ

I. 法人使命である「全ての人々の幸福に貢献する」ことを実現するため、地域の医療・介護・福祉・保育における多様化・高度化するニーズに応えられる人財の育成を推進します。あわせて DX・AI を積極的に活用し、業務の削減および効率化を図ることで、職員一人ひとりがプロフェッショナルとしての誇りを持ち、人の想いを感じ取り、表情や言葉にならない変化に気づく「感性」を大切にしながら、AI では代替できない人間ならではの価値を発揮できる職場づくりを推進します。これにより精神的・時間的なゆとりを生み出し、サービスの品質向上を実現します。

II. 外国人介護人財の受入・育成を深耕し、日本語能力向上研修、介護向上研修、異文化理解研修を含む充実した研修制度のもと、外国人介護福祉士の職場での活躍と地域への定着を促進します。

III. これまで培った経験を活かし、医療・介護・福祉・保育の総合的なサービス提供に加え、予防医療や健康増進プログラムにも更に注力し、地域社会との緊密な連携を通して、地域住民一人ひとりのニーズに寄り添いながら、常に進化する最新の技術・知見を融合させたサービスを提供することで、健康寿命の延伸と生活の質の向上に永続的に貢献します。

IV. OURS で培ったノウハウと「Challenge」「Global」「Love」の3つのコンセプトを柱に、より広範な地域に展開し、社会貢献に努めます。特に、少子化社会に対し貢献していくことを目指し、保護者の就労と子育ての両立を支援する取り組みを強化します。

4. プロジェクト

名称	概要	時期
 房総健康管理センター BOSO Health Check-up Center 	・住所 館山市山本 2423-1 ・構造 地上 2 階木造建て 延床面積 1,068.92 m² ・主な施設 CT 室、MDL 室、一般撮影室、超音波室 3 室、心電図室 2 室、内診室 2 室、肺機能・脈波検査室、計測室、男性専用更衣室、女性専用更衣室、問診室 6 室、内診室 2 室、内視鏡室 2 室等 ・受診者専用駐車場 70 台分 ・主な医療機器 CT 装置、X 線一般撮影装置、マンモグラフィ装置、胃透視装置、腹部超音波装置、乳腺超音波装置、内視鏡機器、婦人科診察ユニット、脳波計、脈波計等	【2026 年 8 月】 工事完了 【2026 年 9 月】 プレオープン 【2026 年 10 月】 オープン

5. 会議

I 理事会の開催予定

開催予定時期	議 題
2026年6月6日(土)14:00～ SunOURS 3階会議室	【決議事項】 ・2025年度 事業報告について ・2025年度 決算について ・理事候補者の選任について ・評議員候補者の選任について ・評議員会の招集事項について ・評議員選任解任委員の招集事項について 【報告事項】 ・職務執行状況(理事長)の報告について
2026年12月5日(土)14:00～ SunOURS 3階会議室	【決議事項】 ・2026年度 補正予算について 【報告事項】 ・職務執行状況(理事長)の報告について
2027年3月20日(土)14:00～ SunOURS 3階会議室	【決議事項】 ・2027年度 事業計画について ・2027年度 予算について
その他必要がある場合に開催	

II 評議員会の開催予定

開催予定時期	議 題
2026年6月20日(土)14:00～ SunOURS 3階会議室	【決議事項】 ・2026年度 決算の承認について ・理事の選任について
その他必要がある場合に開催	

III 評議員選任・解任委員会の開催予定

開催予定時期	議 題
2026年6月20日(土)13:00～ SunOURS 3階会議室	【決議事項】 ・評議員の選任について
その他必要がある場合に開催	

IV 監査等の実施予定

実施予定時期	内 容
2026年5月～6月	・監事監査(定款第18条)
2026年5月～6月	・会計監査人監査(定款第19条)
未 定	・県指導監査
未 定(年2回)	・ISO外部審査
毎 月	・法人経営会議

6. 研修

開催予定月	研修名	備考
4月	新人研修(法人 福祉事業部 医療事業部) 役職者研修(福祉事業部オンライン受講) 指導職・主担当職研修(福祉事業部オンライン受講) 管理職研修(福祉事業部オンライン受講) 労働衛生研修(福祉事業部オンライン受講) BLS 講習会 小児 BLS 講習会 ACLS 講習会	集合(配信あり) 年間を通していつでも 受講可能 年9回実施 年9回実施 年6回実施
5月	医療安全研修会 第1回 千葉県看護学校協議会 2025年度 第2回研修会	
6月	感染症研修 食中毒(法人 福祉事業部)	
7月		
8月	日本看護学教育学会 日本看護学会学術集会 千葉県看護学校協議会 2026年度 夏期研修会	
9月	災害全体会議 医療倫理研修会	
10月	管理職研修 交通安全研修会 机上シミュレーション(災害訓練) 感染管理研修会 第1回	
11月	ISO研修(初級) 2026年度 千葉県看護学生研究発表会 感染症研修 感染症(法人 福祉事業部)	
12月	腰痛対策研修 虐待対応研修会 感染管理研修会 第2回 接遇研修会 労働安全衛生研修会 第1回	
1月		
2月	ISO研修(中級) 医療安全研修会 第2回 個人情報保護研修会 労働安全衛生研修会 第2回 千葉県看護学校協議会 2026年度第1回研修	
3月	日本看護学校協議会関東ブロック研修会	

7. 特別養護老人ホームめぐみの里

【事業及び定員】

・特別養護老人ホーム	78 名	・居宅介護支援
・地域密着型特別養護老人ホーム	20 名	(太陽会ケアプランセンターOHANA・太陽会ケアプランセンターOHANA鴨川)
・短期入所生活介護	12 名	・介護予防事業(短期、通所、居宅)
・地域密着型通所介護	18 名	・鴨川市ひまわり配食サービス

【運営方針】

私たちは、時代の様々な変化にすばやく対応し、高齢者福祉のプロとしてご利用者が生きがいを実感できるよう自立支援介護を目指す。職員一人ひとりが、各々の専門的知識や技術を持ちより、ご利用者やそのご家族の立場に立って物事を考え、チームとしてサービスを提供できるよう努める。また、地域福祉の拠点として、未来の人材育成や地域の方々が安心して老後を過ごせるよう社会貢献していく。

◆ 目標利用率

	2026 年度	2025 年度(見込)
入 所	98.0%	95.0%
ユニット	97.0%	94.0%
短 期	87.0%	70.0%
通 所	77.0%	75.0%

◆ 良質なサービス提供への取組み

- ・ご利用者が健康で安らぎのある自立した生活が送れるよう、多職種連携・協力をしながら、日々改善活動に努める。
- ・ご利用者一人ひとりの残存機能を維持するため、サービス計画書を作成し、統一したケアを実施して、自立支援に施設全体で取り組む。
- ・施設内の明るい雰囲気づくりを推進する。相手の立場になって物事を考え、態度や言葉遣いに気を付けて対応する。また、施設内に関しては、整理整頓を心掛け、清潔感のある施設づくりを目指す。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・前年度は、目標利用率の達成には至らなかったため、再度同じ目標を掲げ、高稼働率を維持できるよう対応する。
- ・個々の職員がムダに対する意識をもって業務に当たる。物価の高騰に対して、物品等の使用に関しても節約・工夫を心掛ける。
- ・報酬改定や国の交付金、その他の助成金や補助金など、施設の収入増につながるような情報に関しては、常にアンテナを高く情報収集し、確実に獲得できるよう対応する。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・チームケアを大切にして、職員一人ひとりが目標を持ち業務に取り組み、研鑽しながらマナーとサービスの質・能力の向上に努める。
- ・地域の介護、福祉の多様なニーズに応えられる人材、自ら能動的に学習し続けることのできる人材の育成・定着に努める。
- ・介護分野における生産性向上の取組を推進する。AI で対応できる部分に関しては、積極的に活用し、業務の省力化・効率化を図る。また、日常業務の中で、不必要なものがないか見直しを行い、サービスの品質向上に努める。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域活動への参加や地域密着型運営推進会議などを通して、地域住民との関わりを多く持ち、関係性を深める。
- ・地域の医療機関や関係各部署・他事業所・他職種間との連携に努め、ご利用者に適切なサービスが提供できるように努める。
- ・大規模災害の発生時に、特別な配慮を必要とする方々に対し、鴨川市と連携を図り、福祉避難所の開設について対応する。

◆ 行事及び会議等

- ・季節を感じ楽しめる行事の実施
4月 花見 5月 端午の節句 母の日 6月 父の日 7月 七夕祭り そうめん流し
8月 夏祭り 9月 敬老会 10月 秋の味覚を楽しむ会 11月 焼き芋
12月 クリスマス 忘年会 1月 初詣 2月 節分 豆まき 3月 ひな祭り
- ・施設内運営会議(月 1 回)
- ・法令、各指針等に基づき定例で開催
安全対策会議、身体拘束適正化会議、虐待防止検討会議、
感染対策会議、生産性向上委員会

◆ 修繕計画

- ・電話・ナースコール更新工事
- ・屋上排気ファン更新工事
- ・非常用すべり台塗装工事
- ・その他、施設の老朽化により突発的に発生する不具合等に対しては、ご利用者にご迷惑をお掛けしないよう都度、迅速に対応する。

8. 介護老人保健施設たいよう

ケアサポートセンターMOANA

【事業及び定員】

- たいよう ・介護老人保健施設サービス 100 名
・(予防)短期入所療養介護入所 (空床利用型)
・(予防)通所リハビリテーション 1日利用型 40 名、短時間利用型 20 名×3 枠
- ケアサポートセンターMOANA
・定期巡回随時対応型訪問介護看護

【運営方針】

- ・包括的ケアサービス施設として、ご利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援する。そのため、ご利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供する。
- ・リハビリテーション施設として、体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行う。
- ・在宅復帰施設として、脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努める。
- ・在宅生活支援施設として、自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所などのサービスを提供するとともに、他のサービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努める。また、医療を提供する在宅支援施設としてターミナルケアを実施する。
- ・地域に根ざした施設として、家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応する。自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担う。
- ・評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努める。

◆ 目標利用率

	2026 年度	2025 年度(見込)
入所＋短期入所	91%	89.5%
通所 OneDaycare	75%	65.8%
SunDaycare	75%	68.4%
MOANA	6 名	5 名

◆ 良質なサービス提供への取組み

たいよう、MOANA 共通
・ご利用者の意思及び人格を尊重し、原則として身体拘束を行わない。また、人権の擁護、虐待を防止する。
・明るく家庭的雰囲気を重視し、ご利用者が「にこやか」で「個性豊かに」過ごすことができるように努める。
・サービスは懇切丁寧を旨とし、ご利用者の同意を得て実施するよう努める。
MOANA
・随時対応サービス及び随時訪問サービスは、ご利用者からの随時の通報に適切に対応する。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・AI や DX、福祉機器・設備などを活用し、サービスの質を損なわずに生産性の向上と業務の効率化を図る。
- ・目標稼働率の達成のため、新規ご利用者の開拓を強化する。
- ・介護老人保健施設の役割を念頭に、介護報酬における算定可能な加算は、サービスの質への貢献性を念頭において効果的に算定する。
- ・事業収入(稼働率)に対して適正な人員配置に努め、財政基盤の強化を図る。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・職員が互いに尊重し合い、ハラスメントの無い働きやすい職場を維持する。
- ・上位者からの指導や、研修・訓練等を通じて職員の成長を促し、働き甲斐のある職場をつくる。
- ・様々な国籍の職員が増加しており、バックグラウンドの違いを理解した上での高度人材化が課題となっているため、これに対応した人材育成の仕組みを運用していく。

◆ 地域社会への取組み

- ・長狭高校の医療・福祉コースへの講師の派遣を継続する。
- ・地区社協に参加するなど、地域活動への貢献を継続する。
- ・自治体や保健・医療・福祉機関ほか各種事業者と連携し、地域と一体となったケアを担う。

◆ 行事及び会議等

○行事(たいよう)

- ・毎月1回程度の頻度で開催し、ご利用者に参加を促す。
- ・消防訓練や設備の維持点検は、法令に則って適切に行う。

○会議

- ・法令等または施設の規則で定められた会議体は、原則としてその定めに従って設置し合議する。臨時に必要な会議等や所属ごとに行う会議は、適宜開催する。

〔法令等の定めによるもの、介護給付の加算の算定に必要なものなど〕

業務継続(BCP)委員会(災害、感染症)、労働衛生委員会、安全対策委員会、
身体的拘束等適正化委員会、虐待防止等対策委員会、感染症・食中毒対策委員会、
終末期ケア委員会、給食会議、生産性向上委員会

◆ 修繕計画

介護設備

- ・老朽化した中間浴装置の入れ替え更新。

その他の設備

- ・空調設備の一部の入れ替え更新をはじめとした老朽化設備の更新。
- ・過去に空調設備を入れ替えた際に、撤去せず残されていた屋上室外機の撤去。

(補助金の活用)

- ・活用可能な補助金はできるだけ活用し、修繕費用を抑制するよう努める。

9. ケアハウスまんぼう

【事業及び定員】

軽費老人ホーム 50 名

【運営方針】

- ・生き生きと明るく自立した生活を楽しめる住まいとなるよう、安全、衛生を基本とした環境づくりに努める。
- ・ご入所者とのコミュニケーションを大切にし、小さな変化を見落とさぬよう心や体への健康管理を進める。
- ・ご家族や関係機関と連携し、サービスの調整・見直しを続けることで、ご入所者の変化していくニーズに随時対応していく。
- ・自分の考えを言い易い環境に整え、新しい発想で業務改善をおこなっていく。
- ・地域に根差した施設として、地域社会との連携を図っていく。

◆ 目標利用率

	2026 年度	2025 年度（見込）
入所	96.0%	92.4%

◆ 良質なサービス提供への取組み

- ・安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスや社会資源の情報提供を随時提供し、地域との繋がりやイベント等の情報を提供することで、充実した日々を送っていただけるよう心掛ける。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・入所稼働率を高水準で維持するために、退所後の居室修繕・ハウスクリーニング導入のタイムラグを抑え、退所から入所の空室状況を極力なくすよう努める。
- ・入所待機者数の増加を進める為、各関係機関への営業活動や地域の方々への情報提供を様々な方法で行い、入所希望者の裾野を広げる取組みを進めていく

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・年間計画された各種研修や訓練をはじめ、県や関係団体の研修をリサーチし、リアルタイムに重要な会議や研修に参加し、日々変化する福祉情報を取りこぼすことのないよう心掛けていく。
- また、AI の活用を常用化することで、業務の簡略化や無駄の排除を行い、その時間をご利用者への支援に転換していく。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域自治体や福祉・医療関係機関、地域住民とのつながりを大切にし、地域イベントへの参加や「地域福祉の拠点」としての役割について模索していく。

◆ 行事及び会議等

- ・行事 : 体力維持を目的とした体操クラブや集中力と指先を使う折り紙クラブ、麻雀などの同好会活動を行うことで、楽しく充実した入所生活が送れるよう努める。また、行先を変えマンネリ化を考慮した買物外出や、季節の移り変わりを感じられる外出を計画していく。
- ・会議 : 職員会議、給食会議、ケース会議、安全対策委員会、利用者懇談会を毎月行い、高齢者虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会については指針等に基づき定例で開催する。

※感染症及び食中毒の予防及びまん延防止、事故発生の防止及び発生時の対応の検討会については、安全対策委員会の中で随時開催する。

◆ 修繕計画

- ・受水槽 塗装補修工事
- ・エントランス鉄骨他 塗装工事
- ・エレベーター機能維持修理

10. 障害者支援施設しあわせの里

【事業及び定員】

- ・施設入所支援 70名
- ・生活介護 70名
- ・短期入所 10名
- ・相談支援

【運営方針】

2026年度は、臨時報酬改定が控えており、その動向にしっかりと対応していく。

- ・ご利用者の生活の質(QOL)の向上 : 個別支援計画の充実と実践
- ・地域共生の推進 : 地域との連携強化と社会参加の促進
- ・職員の専門性向上 : 研修の充実とキャリアアップ支援
- ・ICT・DXの活用 : 業務効率化と支援の質向上

◆ 目標利用率

	2026年度	2025年度(見込)
施設入所支援	98.5%	95.0%
生活介護	95.0%	92.0%
短期入所	70.0%	65.0%
相談支援	23件/月	21件/月

◆ 良質なサービス提供への取組み

- ・個別支援計画の強化 : アセスメントの精度向上と定期見直し、モニタリングを実施する。
- ・日中活動の充実 : 生産活動・創作活動・余暇活動の多様化を検討する。
- ・健康管理の強化 : 食事支援・運動プログラム・口腔ケアの強化を図る。
- ・虐待防止・権利擁護の推進 : 意思決定支援の強化を図る。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・日頃からスタンダードプリコーションを実施し感染対策に努め、医療機関や行政、高齢者施設等と連携を図り、サービス調整を行い、稼働の維持安定を図る。
- ・行政や相談支援事業所・安房特別支援学校と連携を図り、新規ご利用者の受け入れの強化を図る。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・BCP や虐待防止・身体拘束等をテーマに職員のスキルアップの機会を持つ。またAI・DXや福祉機器・設備を活用し、職員が働きやすくご利用者の QOL を高め、やりがいのある職場環境を目指す。
- ・全国身体障害者施設協議会のケアガイドラインを基に、研修を実施し資質の向上を図る。
- ・ナースコール設備の老朽化による入替時に、スマートフォンの導入を計画し生産性の向上を図る。
- ・外部研修・内部研修の計画を立案し実施していく。

◆ 地域社会への取組み

- ・日常からオープンに地域活動等に参加し、連携を強化していく。災害時等には福祉避難所として行政と連携を図る。
- ・近隣地域との大規模災害時の協力体制の強化を図る。
- ・地域の子供たちへの福祉教育、インターンシップ受け入れを実施する。
- ・年間 1 回地域連携推進会議を実施する。

◆ 行事及び会議等

- ・行事 : 年間を通じて季節を感じるものやご利用者のニーズに沿ったものを計画し、実施する。
4月 花見 5月 家族会 6月 食事外出 7月 七夕 8月 夏祭り
9月 食事外出 10月 ハロウィン 11月 紅葉ドライブ 12月 クリスマス会
1月 新年会 2月 節分 豆まき 3月 ひな祭り
その他、県身協オセロ大会、ボッチャ大会
- ・会議 : 施設内経営会議・ケア安全会議・個別支援会議・入所検討会議・地域連携推進会議
- ・委員会 : 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会・感染対策委員会

◆ 修繕計画

- ・ナースコール設備の入替工事
- ・移乗用リフトや入浴設備導入の検討
- ・介護用ベッドの入替
- ・らんまん棟廊下・脱衣場等共用部空調設備

11. 障害福祉サービス事業所らんまん

【事業及び定員】

・就労継続支援 B 型	38 名	従たる事業所 (らんまん和田事業所)	10 名
・自立訓練 (生活訓練)	6 名		
・共同生活援助 (ケアホームらんまん)	25 名		

【運営方針】

当事業所では、ご利用者が地域社会とつながり、個性を輝かせて活躍できる多様な作業活動の機会と、自立した地域生活の場を提供し、「働く」「暮らす」を一体的に支援する。

作業工賃額の多寡による報酬体系と、2026 年度報酬改定 (改定率 1.84%の方針) に対応し、平均工賃額の向上と、加算算定要件の確認と取得促進に努め、経営の安定化と、ご利用者のウェルビーイング (心身の健康) の向上の両立に重点を置く。

また、2 カ所の学生食堂の運営を通じ、多様な方々が集う交流拠点としての一助を担う。加えて、農 (農業) 社 (行政・企業) 教 (学校) との多様な連携による活動に継続的に取り組み、「支えられる側」から「地域を支える側」への役割も強化し、共生社会の実現に寄与する事業運営を目指す。

◆ 目標利用率

事業種別等	2026 年度	2025 年度 (見込)
就労継続支援 B 型	95%	92.4%
自立訓練 (生活訓練)	95%	83.0%
ケアホームらんまん	97.5%	98.0%

※ケアホームらんまんの目標利用率 2025 年度見込比 -0.5%については、自宅等への外出、外泊機会の再開を考慮。

◆ 良質なサービス提供への取組み

- ・多様な作業機会の提供と、新たな作業種にもチャレンジすることで、選択肢のアップデートをしてご利用者一人ひとりが強みを活かすことができる就労環境を構築する。
- ・学食運営、クリーニング、官公需などの安定した受託作業に加え、アート作品等付加価値の高い作業の販路を拡大し、安定した工賃支給体制の構築に努める。
- ・地域連携推進会議 ※1)を開催し、ご利用者の意思決定の尊重に加え、地域の代表者、関係機関の方々からの意見も取り入れ、より質の高い地域生活の形を構築する。

※1) 地域連携、事業運営の透明性やサービスの質を向上させるために、施設が開催する会議 (2025 年度から義務化)。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・報酬改定に対応した加算を漏れなく確実に取得し、給付費収入の最大化に努める。
- ・特別支援学校や相談支援事業所との連携強化と、体験利用・見学の促進をし、新規利用につなげる。
- ・工賃額のアップ (満足度向上) → 利用者の定着・新規利用 → 事業収益の増加という好循環サイクルを確立する。
- ・適正人員配置、経費低減、収支バランスの定期的な検証・改善に努め、安定経営につなげる。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・GH、作業、学食間の労働力の相互連携と、DX や AI を活用した生産性向上、事務負担軽減に取り組み、最小人員で最大の成果につながる体制づくりに努める。
- ・障害特性に応じた支援方法や権利擁護、虐待防止研修に加え、各種作業活動に関する専門研修等、内部・外部研修を計画的に実施してスキルアップと意識向上を図る。
- ・外国人学生アルバイト、障害を持たれた方等、多様な人材の雇用により、安定した人材を確保する。

◆ 地域社会への取組み

- ・学食を活用した学生、地域、周辺の学校との交流イベント(お祭り、アート作品展示会等)の企画実施。
- ・農福連携で収穫した野菜や養殖エビをメニューに取り入れ、地域の農業課題への貢献やサステナブルな活動に取り組む。
- ・地域連携推進会議を開催し、顔の見える関係づくりを構築。災害時における福祉避難所としての連携、ホーム周辺の清掃活動等地域貢献活動に取り組む。
- ・SNS を活用、日々の活動や地域貢献の取り組みや生産物の情報を積極的に発信し、障害福祉への理解促進と地域連携を深める。

◆ 行事及び会議等

- ・行事については、月 1 回実施。
- ・作業製品等の販売機会、イベントへの出店、協賛。
- ・亀田医療大学イベントへの協賛、キッチン営業。南房総校オープンキャンパスへの協賛への他、カフェにて、学生、周辺の学校、地域との交流イベントを企画実施。
- ・各種会議、委員会は、障害者総合支援法及び、各指針等に基づき定例で開催予定。

◆ 修繕計画

- ・空調、給排水、給湯器、消防設備、各作業設備、機器、送迎車両の点検及び計画的なクリーニング等、予防保守の徹底に努める。
- ・ご利用者の高齢化、重度化に対応した段差解消、スロープ、手摺等のバリアフリー部分改修を計画的に実施する。
- ・定期点検等で更新、修繕の指摘のある箇所への中長期的な対応。
 - 1.空調動力盤更新
 - 2.受水槽ポンプ室給水設備加圧吸水ポンプ更新
 - 3.空調更新(しあわせの里との共有部分)
- ・大規模修繕を見据えた適正な積立計画の作成。

* その他少額の修繕、整備も当該年度予算により計画的に対応していく。

12. 千葉県中核地域生活支援センター ひだまり

【人員配置】

センター長 1名、副センター長(地域総合コーディネーター) 1名、コーディネーター 3名、障害者グループホーム等支援ワーカー(GHW) 2名(内1名は、しあわせの里生活支援室兼任)、事務 1名

【運営方針】

地域のさまざまな社会資源を有効かつ適切に活用することにより、地域の誰もが生涯を通じ自分らしく満足のできる生活が送れるように支援する。

生活上の課題を抱える人とその家族、各関係機関、横断的な支援を必要とする人、権利擁護を必要とする人に対し、その人やその人を取り巻く環境にアプローチし、自ら解決する力を引き出す。

また、職員それぞれが業務を遂行するにあたり、専門知識のさらなる向上を目指し、安房圏域の児童・高齢者・障害を持つ方々や、その他様々な要因で地域社会や相談窓口に繋がることが困難な方々のニーズを直接受け止め、各関係機関と連携し迅速なる対応を心がける。

【事業内容】

◆ 包括的相談支援事業

制度の狭間にある人、複合的な課題を抱えた人、広域的な調整を必要とする人の相談を24時間・365日ワンストップで分野横断的に受止め、相手方に寄り添った支援を行う。

◆ 地域総合コーディネート事業

行政・福祉・医療・司法・教育等の各分野の支援者や支援機関、当事者・関係機関等と調整し、個別課題から見える地域課題を関係機関と問題意識の共有を図り、新たなサービスや社会資源創出の促進に努める。

◆ 権利擁護事業

高齢者、障害者、児童等の判断能力が不十分な者に対して、権利侵害、虐待等の予防や対応を行い、本人やその家族が尊厳ある生活を送れるよう支援する。

◆ 市町村バックアップ事業・重層的支援体制整備事業

各市町の相談支援体制等のスキルアップを図り、地域全体の対応力の向上を図る。複合的な課題の解決事例を通して各市町の重層的支援体制の構築に向けた支援を行う。

◆ 障害者グループホーム等（以下、GHという）支援事業

GHWを配置し、各種相談やGHの運営体制強化に資する支援を行う。

◆ 生活困窮者自立相談支援事業（鋸南町）

生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立相談支援や就労支援等を通じて「自立の促進」を図る。

◆ 校内居場所づくり事業（高校居場所カフェ）

様々な要因により困難な状況にある子どもに対し、校内で安心できる居場所を提供する。

◆ 行事及び会議等

	行 事	会 議
4月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」 高次脳機能障害当事者家族会(毎月)	中核地域生活支援センター連絡協議会(毎月) 郡部中核センター委員会(毎月) 鋸南町支援調整会議(毎月)、GHW 研修・会議(毎月) 要保護児童対策地域協議会(館山・南房総・鋸南 隔月) 地域自立支援協議会相談部会
5月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 GH 連協総会 地域自立支援協議会 GH 部総会 青空の会総会	地域自立支援協議会総会 地域自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児 WG 要保護児童対策地域協議会(鴨川 隔月) 南房総市要保護児童対策地域協議会代表者会議 高次脳機能障害普及支援事業(隔月) スクールソーシャルワーカーとの連携会議(隔月) 安房しあわせネットワーク(隔月) 特別支援教育連携協議会 GH 支援事業連絡協議会代表者会議 地域福祉担当課長・社会福祉協議会事務局長合同会議
6月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」 視覚障害者当事者の会「あわの虹」	地域自立支援協議会相談部会 南房総ひきこもり支援協議会 鴨川市虐待防止連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会
7月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」	重層的支援体制整備事業 地域自立支援協議会 GH 部会
8月	居場所づくり「あつまり」	地域自立支援協議会相談部会 南房総市ひきこもり支援プラットフォーム準備会 安房地区医療的ケアネットワーク連絡会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会
9月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 視覚障害者当事者の会「あわの虹」	地域自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児 WG 地域自立支援協議会 GH 部会
10月	中核地域生活支援センター大会 高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」	地域自立支援協議会相談部会 地域自立支援協議会 6 部会合同研修 南房総ひきこもり支援協議会 南房総市ひきこもり支援プラットフォーム準備会 特別支援学校・特別支援養育コーディネーター連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる千葉の会
11月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 リハケア文化祭	重層的支援体制整備事業 鴨川市虐待防止連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会
12月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 居場所づくり「あつまり」 視覚障害者当事者の会「あわの虹」	地域自立支援協議会相談部会 地域自立支援協議会 GH 部会 生活困窮者自立相談支援機関実務者会議
1月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 GH 大会	地域自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児 WG
2月	居場所づくり「あつまり」	中核地域生活支援センター評価会議 地域自立支援協議会総会 地域自立支援協議会相談部会 地域自立支援協議会 GH 部会 南房総ひきこもり支援協議会 連絡調整会議 館山市高齢者虐待防止ネットワーク会議 生活困窮者自立相談支援機関実務者会議(家計部会) 館山市高齢者虐待防止ネットワーク会議
3月	高校居場所カフェ「ゆるかふえ」 GH 講座 視覚障害者当事者の会「あわの虹」	南房総市高齢者虐待防止ネットワーク会議代表者会議 鴨川市虐待防止連絡協議会 医ケアっ子の未来をつくる安房の会

13. 鴨川市福祉総合相談センター 天津小湊

【事業】

- ・地域包括支援センター・サブセンター受託事業

【運営方針】

天津小湊地区と東条地区で生活する住民の総合相談窓口として、地域住民が住み慣れた地域で生活が続けられるよう、介護・福祉・健康・医療等の面から総合的に支援する拠点となる。

- ・24 時間 365 日のワンストップの相談体制の周知を図る。
- ・地域住民やボランティア、医療や介護の各関係機関と連携し、顔の見える関係を構築しながら相談支援を行う。

◆ 良質なサービス提供への取組み

・介護予防ケアマネジメント

- ① 介護予防の普及啓発を行い、対象者を把握して必要な支援を行う。
- ② 介護予防・総合支援事業で実施される介護予防・生活支援サービス事業で、介護予防への取り組みを推進する。

・包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ① 介護支援専門員への研修や個別支援を行い、ケアマネジメント能力の向上を図る。
- ② 介護支援専門員及び介護サービス事業所が医療と連携しやすい体制を作る。

・権利擁護

- ① 高齢者虐待の個別対応にあたっては福祉課や他関係機関と連携を図りながら、早期解決に向けた支援を行う。
- ② 鴨川市虐待防止連携協議会等に参加し、虐待防止のネットワークづくりを行う。
- ③ 成年後見制度の利用普及に向けて、権利擁護センターと相談支援体制の充実及び啓発活動を行う。

・地域ネットワーク構築

- ① 社会福祉協議会及び地域関係団体とのネットワークを構築し、独居高齢者等の地域での見守り等の支援が充実するよう働きかける。
- ② 地域ケア会議を継続し、地域関係団体及び医療介護専門職のネットワークづくりを行う。
- ③ 担当地区における災害時の要支援者名簿の作成と鴨川市等への情報提供を行う。

・在宅医療・介護連携支援センター

- ① 在宅医療及び介護関係機関が連携しやすい体制づくりを推進する。
- ② 地域住民に対し在宅医療の普及啓発活動を行い、専門職との連携が図りやすい体制づくりを行う。

・認知症高齢者支援

認知症機能強化型の包括支援センターとして、認知症高齢者の支援に重点を置いた支援を実施する。

- ① 認知症初期集中支援チームのチーム員として会議等に参加し、認知症高齢者の支援に役立てるとともに、認知症疾患医療センターや認知症サポーター医との連携が図れる体制づくりを行う。

- ② 認知症家族のつどいの開催を通し、認知症や認知症施策の普及・啓発に努める。
- ③ 定期的にテーマを決めての勉強会等を開催し、認知症について気軽に相談できる場所づくりを行う。
- ④ 認知症の啓蒙活動として、地域や関係機関に働きかけ、その要望に応じ認知症サポーター養成講座を開催する。
- ⑤ 認知症カフェ等の活動の支援や、認知症の疑いのある高齢者や介護サービスにつながらない認知症高齢者等への訪問等による相談支援を行う。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・職員が互いに尊重し合い、ハラスメントの無い働きやすい職場を維持する。
- ・上位者からの指導や、研修・訓練等を通じて職員の成長を促し、働き甲斐のある職場をつくる。

◆ 行事及び会議等

行事： 9月 虐待防止キャンペーン
 11月 安房地区リハビリ文化祭
 12月 虐待防止研修会

会議：

開催月	会 議 名
毎月	鴨川市福祉総合相談センター連絡会議 各地区社会福祉協議会(総会)
奇数月 (3月を除く)	鴨川市認知症初期集中支援チーム定例会議
5月	鴨川市民生委員児童委員協議会地区会議 鴨川市介護サービス事業所協議会総会 鴨川市ケアマネジャー連絡協議会総会
8・11・2月	鴨川市虐待防止連携協議会会議
7月	小湊地区地域福祉フォーラム
10・3月	介護保険運営協議会(地域包括支援センター運営協議会)

14. 安房地域医療センター

【運営(経営)方針】

安房地域医療センターの使命と役割は、患者さまにとって最適な医療を提供すること、地域医療および地域の健康を守り支えることにあります。そのためには、安定した経営基盤の確立はもとより、緊密な地域連携、長期的視点に基づく事業展開および人材の確保が不可欠です。

今年度は、房総健康管理センターの開設をはじめとして、病床機能の最適化や手術・眼科部門の強化、生産性向上による経営改善に主眼を置くとともに、医療介護連携および多職種連携の推進、良質な医療人材・経営人材の採用および育成、定着率の向上に努めていきます。

【基本方針】

1. 365 日 24 時間の救急医療を提供する。
2. 患者さまを尊重した、安全で質の高い医療を提供する。
3. 健康維持のために意義ある検診・人間ドックを提供する。
4. 職員の研修・研鑽に努める。
5. 明るく、働き甲斐のある病院創りに努める。
6. 地域の中核病院として、他の医療機関・福祉施設等の医療連携に努める。

【重点項目】

◆ 目標患者数／受診者数

	2026 年度(目標)	2025 年度(見込)	2024 年度実績
入院 (1 日平均)	51,400 名 (141 名)	50,900 名 (140 名)	51,706 名 (142 名)
外来 (1 日平均)	156,600 名 (519 名)	150,600 名 (499 名)	149,992 名 (495 名)
健診・検診	61,500 名	57,000 名	54,763 名

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

1. 眼科部門・健診部門の早期収益化
2. 持続的成長・発展のための利益確保
3. 収益性向上、徹底したコスト最適化
4. 経営資源の有効活用および有効配分
5. 設備投資計画の策定・投資予算管理の強化
6. 2026 年度診療報酬改定への適切な対応

◆ 患者さま支援および地域社会への取組み

1. 患者さま目線での医療サービスの提供
2. 切れ目のない患者さま支援と医療・介護連携の推進
3. 予防医療の推進と健康寿命延伸への貢献
4. 二次救急医療機関としての機能強化
5. 潜在的ニーズの把握と喚起策の実行
6. 地域交流活動の継続、充実
7. 価値を高める広報戦略活動
8. 収益・成果の職員への適正な還元
9. ステークホルダーとの良好な関係の構築

◆ サービスの量的拡大、質的向上へ向けた取組み

1. 医療・業務の標準化および質の追求
2. 業務プロセスの最適化によるパフォーマンスの向上
3. ICT・AI 利活用による生産性向上、業務負担軽減
4. 多職種連携の推進と専門性・スキルの発揮
5. 房総健康管理センタープロジェクトの着実な推進
6. 2027 年度稼働に向けた電子カルテ更新プロジェクトの始動
7. ビジョンマネジメント・ナレッジマネジメントの推進
8. コンプライアンスの徹底、適切なリスクマネジメント
9. 法人内連携および協働の推進
10. 外国人スタッフの受け入れ体制整備

◆ 人材育成と職場環境の整備

1. 計画的な人材確保および戦略的人材配置
2. 人材育成・キャリア開発支援の充実
3. 教育・研鑽による職能向上
4. 法人内外における人材交流の促進
5. 働きがいのある良好な組織風土の醸成

◆ 年間スケジュール

- ・ 2026 年 4 月 入職式・新人オリエンテーション
- ・ 2026 年 5 月 総合健診（安房 4 市町、～11 月）
- ・ 2026 年 6 月 2026 年度診療報酬改定、ISO 外部審査
- ・ 2026 年 9 月 避難訓練
- ・ 2026 年 10 月 房総健康管理センターオープン（予定）、病診連携の会、災害訓練
- ・ 2026 年 11 月 医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査（医療監視）
- ・ 2026 年 12 月 ISO 外部審査
- ・ 2027 年 1 月 避難訓練

15. 訪問看護ステーションおひさま

【運営方針】

おひさまの使命と役割は、住み慣れた地域で、その人らしく最期まで安心して暮らせるよう、医療と生活をつなぎ支えることにある。そのためには、安定した経営基盤、地域密着・信頼の蓄積、人材定着が最重要課題である。

今年度は、稼働率の安定と働きやすさの両立、ターミナルケアの質向上、地域・多職種連携の強化を重点戦略とし、収益および組織の安定を図り、地域に根差した訪問看護ステーションで在り続ける。

【基本方針】

1. ご利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅で有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように療養生活を支援し、心身機能の維持回復を図る。
2. ご利用者の心身の特性を踏まえて、日常生活の充実に資するよう、その療養上の目標を設定し、計画的に行う。
3. ご利用者の意思および人格を尊重し、常にご利用者の立場に立ったサービスの提供に努める。
4. 訪問看護の実施にあたっては、ご利用者の所在する市町村、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、保健医療サービス及び福祉サービスの提供者との連携に努める。
5. 指定訪問看護の提供の終了に際しては、利用者またはその家族に対して適切な指導を行うとともに、主治医及び居宅介護支援事業者へ情報の提供を行う。
6. 「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」(平成 11 年厚生省令第 37 号)に定める内容を遵守し、訪問看護を実施する。

【重点項目】

◆ 数値目標

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 月間利用者：150 人2. 訪問件数：600 件／月3. 稼働率：80％以上4. 新規依頼数：平均 10 件／月5. 離職率：10％以下 |
|---|

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 新規利用者数の確保2. 訪問件数・稼働率の安定化3. 加算取得の適正管理4. 病院相談室やケアマネジャーとの関係構築 |
|--|

◆ 利用者支援および地域社会への取組み

1. 24 時間対応体制の充実
2. スムーズな退院支援、多職種連携の強化
3. 医療関係者（看護学生、医学生等）への研修環境の提供
4. 医療的ケア児者等の地域課題解決のための行政連携
5. 災害や新興感染症に対応するための BCP 整備および効果的運用

◆ サービスの量的拡大、質的向上へ向けた取組み

1. ICT 活用などによる業務効率化と生産性向上
2. 定期的な研修、勉強会の実施
3. ターミナルケア・看取り強化
4. 専門資格取得支援
5. 特定看護師の活動の充実

◆ 人材育成と職場環境の整備

1. ワークライフバランスの確保
2. 心理的安全性の確保
3. 稼働時間の平均化
4. オンコール負担の軽減
5. 休みやすい組織体制づくり

16. 安房医療福祉専門学校

【運営方針】

- ・教育理念及びエデュケーションポリシー(私たちが大切にしている6つのこと)による教育を展開し、看護師としての必要な基礎力を培い、看護師国家試験での合格率100%を目指す。
- ・18歳人口の減少、看護師志望者の減少、大学志向など安房地域での学生の確保が厳しい状況のなか、様々な募集活動及び入学方法で2027年度の入学者を確保し、安定した学校経営及び奨学金利用による太陽会への看護師供給を図る。

【教育理念】

- ・愛の心をもって、患者さまのニーズに柔軟に対応し、地域の人々と共に歩んでいける看護師を育成する。

【重点項目】

◆教育における取組み

- ・令和4年の省令改正に導入したデジタルテキストを廃止し、2025年度は紙の教科書に戻した。引き続き、紙の教科書を使用し知識の定着を図るために、自らの身体を動かし、思考をまとめ、そしてノートに記載していく作業を継続させる。2年生からは、国家試験の過去問題に取り組む時間を定期的に設け、その成果を外部模試で評価する。その結果、各人の弱点科目を洗い出し、重点的に問題に取り組む方法をとる。弱点の洗い出しには、AI技術を活用し、各学生が間違えた問題の類似問題をAIが作成し、正解率が上がるまで定期的に問題が配信されるシステムを導入する予定である。
- ・看護技術の習得に向けては、昨年同様に病院の指導者と協力し実習前の技術演習を指導してもらう時間を設ける。当校の卒業生が安房地域医療センターの指導者として後輩を指導するようになり、後輩にとっても身近にロールモデルがいることで、将来への希望が湧いてくる環境が整いつつある。引き続き、看護部との情報交換を行い臨床の場で必要な知識・技術は何か検討する時間を設け、カリキュラムに反映させる。

◆学生募集における取組み

- ・入学生の確保がますます厳しい状況のなか、安房地域のみならず、千葉県内、全国からの学生を集めることが不可欠である。まずはオープンキャンパス参加者確保に向け、受験媒体やSNS等を利用し様々な情報発信を行う。また、千葉県内を中心とした高校訪問(通信制高校含む)による営業活動の更なる強化、個人アプローチ者へのきめ細やかなフォロー、在校生や卒業生、太陽会職員による入学生紹介制度、外国人の獲得など多岐にわたる募集戦略を実行する。太陽会奨学金制度を積極的にアピールし、太陽会就業者数の確保に努める。
- ・入試は昨年度9月に導入した総合型選抜(AO入試)で早期入学生の獲得に成功したため、今年度も総合型選抜(前期)に注力する。高校による指定校推薦、公募推薦、また社会人推薦、一般入試はほぼ昨年度と同一の内容で実施し、総合型選抜は12月と3月に後期型を新たに導入し、受験し易い方式で受験機会を増やす。入試内容は、総合型選抜と指定校推薦は書類審査と面接による選考、その他の入試では書類審査、面接及び筆記試験は従来通り、国語(現代文のみ)の1科目とし、面接重視型とする。

◆人材育成と職場環境の整備

- ・変化する看護教育、学校教育(ICT)、制度改革に対応すべく研修等に参加するなど必要な知識やスキル向上を図り、教職員各自が自覚をもち、その責務と役割を遂行できる能力を養う。
- ・ISO9001による品質管理を行い、教務と事務で連携、学生の意見等も取り入れ、より良い学校運営を円滑に進める。
- ・業務の効率化、業務改善を図り、ワークライフバランスのとれた健全で安全な職場環境の整備に努める。

【学生の状況について】(2026年4月1日予定数)

1) 新卒/社会人別

	1年生	2年生	3年生	計
高校新卒	29 (4)	14 (1)	23 (3)	66 (8)
社会人	5 (1)	6 (1)	7 (1)	18 (3)
外国人 (留学生)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
合計	35 (5)	20 (2)	30 (4)	85 (11)

() 男子学生

2) 住所地別(入学前の居住地)

	1年生	2年生	3年生	計
安房三市一町合計	15	7	15	37
・館山市	8	2	7	17
・南房総市	7	3	7	17
・鴨川市	0	0	1	1
・鋸南町	0	2	0	2
千葉県 他市町村	16	7	8	31
千葉県 以外	4	6	7	17
合計	35	20	30	85

◆ 年間計画(主な行事予定)

<在校生>

日程	内容
4月3日	新入生入学前オリエンテーション
4月4日	入学式・保護者会
4月6日～	始業・新入生オリエンテーション
4月7日	学生定期健康診断
4月10日	春の総合訓練(避難・消火)
5月11日～9月11日	3年生 領域別実習
6月1日～3日	1年生 基礎Ⅰ-1実習
7月25日～8月31日	夏期休業(1・2年生)
10月1日～11月5日	3年生 統合・在宅看護論実習
10月9日	秋の総合訓練(避難・消火)
10月17日	学校祭
11月9日～12月4日	2年生 基礎Ⅱ実習
11月13日	千葉県看護学生研究発表会(3年生)
11月14日～11月30日	夏期休業(3年生)
12月23日～1月11日	冬期休業
2月6日	誓いの日
2月17日～2月26日	1年生 基礎Ⅰ-2実習
2月14日	第116回看護師国家試験(仮)
3月6日	卒業式
3月20日～	春期休業(1・2年生)

<オープンキャンパス> 来校型

実施日	回(対象者)
3月28日(土)	春休み(高3生限定)
6月13日(土)	第1回(全学年)
7月25日(土)	第2回(全学年)
8月8日(土)	第3回(全学年)
8月19日(水)	第4回(全学年)

<パーソナル学校見学会・個別相談会>

・オープンキャンパスに来校できない学生、社会人対象に希望日時(土曜日・夕方含)で実施。
 ※来校型/オンライン型(遠方者向け)の選択制。
 ※実施期間:F日程入試実施前まで。

※総合型選抜(AO入試)のエントリー(出願)条件:
 オープンキャンパスまたはパーソナル学校見学会・
 個別相談会の参加を必須とする。

<入学試験>

実施日	日程区分	受験区分 条件等
9月12日(土)	総合型選抜 前期	オープンキャンパス参加が必須
10月10日(土)	A日程入試	指定校推薦 / 公募推薦 / 社会人推薦
11月7日(土)	B日程入試	公募推薦 / 社会人推薦 / 一般選考
12月5日(土)	C日程入試	公募推薦 / 社会人推薦 / 一般選考 / 総合型選抜後期Ⅰ
1月16日(土)	D日程入試	公募推薦 / 社会人推薦 / 一般選考
2月13日(土)	E日程入試	社会人推薦 / 一般選考 /
3月13日(土)	F日程入試	社会人推薦 / 一般選考 / 総合型選抜後期Ⅱ

※外国人(留学生)対象入試:B・C日程の一般受験のみ。

17. 安房医療福祉専門学校南房総校

【運営方針】

- ・開校 3 年目を迎えた。南房総校は、教育の質の向上と安定した学生確保を両立し、地域の介護人材と日本で活躍できるグローバル人材の育成に努める。
- ・太陽会各拠点との連携を強化し、実習の充実と就職への接続を図り、実践的な教育体制を構築する。
- ・地域との協力を深め、日本人学生の確保と留学生受け入れを進め、安房地域の人材基盤強化に貢献する。

【教育理念】

- ・グローバルな視点を持ち、高い倫理観と知識に裏付けられたあたたかなケアを実践する介護福祉士の育成。

【重点項目】

◆教育における取組み

1. さらなる教育の質の向上を最重点課題とする。介護福祉士国家試験の合格率向上を目標に、学生募集段階から日本語学科との連携を強化し、日本語力の底上げと専門用語理解の徹底により、合格率の改善を図る。
2. 介護福祉学科 1・2 年生ともに在籍者数が増加しているため、一人ひとりに応じたきめ細かな指導が行えるよう、介護福祉学科のみならず学校全体で支援する体制を構築する。
3. 実習施設との連携を一層深めるとともに、太陽会人事部との連携を強化し、実習を就職につながる実践的な学びの機会へと発展させる。
4. 日本語学科では進学目的を明確にした指導を徹底し、介護福祉学科への円滑な内部進学と学力の保証を実現する。

◆学生募集における取組み

1. 国内日本語学校との募集ルートは確立しつつあり、在学生からの紹介も増加していく。
2. 留学生への支援体制をさらに充実させ、持続可能な受け入れ態勢を整える。
3. 海外も既存ルート(ベトナム、インドネシア、ネパール)を重視し、安易にエージェントを増やさない。
4. 補助金活用や財源確保に努めるとともに、日本人学生確保に向けた営業活動を強化する。

◆人材育成と職場環境の整備

1. 介護福祉学科および日本語学科においては、教育体制の基盤は整いつつありますが、教職員が安心して力を発揮できる職場環境の整備は今後の重要課題である。
2. 人員の入れ替わりが生じても教育及び職務の質が維持できるよう、業務の標準化・マニュアル化を進め、誰もが円滑に業務を引き継げる体制を構築する。
3. あわせて情報共有の仕組みを整え、業務の可視化と効率化を図る。特定の職員に負担が集中しない組織体制を確立し、持続可能で安定した学校運営を実現する。

【学生の状況について】(2026 年 4 月 1 日現在(予定))

1) 学科別

	1 年生	2 年生	計
介護福祉学科	33 (4)	33 (2)	66

	4 月生	10 月生	計
日本語学科	20 (1)	未定	20

() 男子学生

2) 国籍別

介護福祉学科	1 年	2 年	合計
ベトナム(ドンア大学)	2	5	7
インドネシア	2	10	12
ネパール	27	14	41
フィリピン	0	1	1
スリランカ	0	2	2
日本	2	1	3
合計	33	33	66

日本語学科	4 月生	10 月生	合計
ベトナム(ドンア大学)	2	—	2
ベトナム(※県プロ)	8	—	8
インドネシア	6	—	6
ネパール	2	—	2
フィリピン	2	—	2
合計	20	未定	20

※千葉県留学生受入プログラム

◆年間計画(主な行事予定)

<在校生>

日程	内容
4月9日	入学式(介護福祉学科日本語学科)
4月23日	介護福祉学科2年生の介護実習報告会(前年度3月に実施した実習)
4月24日	学生定期健康診断
5月13日	春の総合訓練(避難・消火)
5月18日	介護福祉学科 2年生 実習開始
6月6日	みんなのオープンキャンパス(学校見学会・学校説明会) 予定
8月1日	介護福祉学科 1年生 夏季休暇 ～9月20日
8月3日	介護福祉学科 2年生 実習開始 Aグループ ～9月3日 Bグループ夏季休暇
9月7日	介護福祉学科 2年生 実習開始 Bグループ ～10月8日 Aグループ夏季休暇
8月11日	日本語学科 夏季休暇開始 ～8月31日
9月1日	日本語学科 武蔵野大学フィールドスタディ参加 ～3日
10月3日	指定校推薦 社会人推薦 入試
10月15日	介護福祉学科 1年生 実習報告会
10月30日	体育祭
10月下旬	日本語学科生4月生申請締め切り
11月5日	秋の総合訓練(避難・消火)
11月7日	一般選考 A 留学生 A 入試
12月12日	一般選考 B 入試
12月19日	日本語学科・冬期休暇開始
12月26日	介護福祉学科・冬期休暇開始
1月16日	社会人推薦 B 一般選考 C 入試
1月24日	介護福祉士国家試験(予定)
2月4日	介護福祉学科 2年生 事例発表会
2月6日	介護福祉学科 2年生 春期休暇
2月13日	一般選考 D 留学生 B 入試
2月15日	介護福祉学科 1年生 実習②
3月4日	介護福祉学科 卒業式
3月13日	グループ校受験 一般選考 E 入試 日本語学科 春休み開始
3月15日	介護福祉学科 春休み開始

<オープンキャンパス>

実施日	内容
6月初旬	春の「みんなのオープンキャンパス」(第1回)
10月下旬	秋の「みんなのオープンキャンパス」(第2回)

※設定日以外でも個別来校に対応します。遠方の方はオンラインで個別対応します。

<入学試験>

実施日	日程区分	受験区分
10月4日	1	指定校推薦/社会人推薦 A
11月8日	2	一般選考 A 留学生 A
12月12日	3	一般選考 B
1月13日	4	社会人推薦 B 一般選考 C
2月13日	5	一般選考 D 留学生 B
3月13日	6	グループ校受験 一般選考 E

※遠方から受験の場合、また学校単位で複数の受験者がいる場合は、相談に応じ対応します。

18. 認定こども園 OURS

【定員】

・教育保育課	390 名	・一時預かり事業	15 名	・学童クラブ OURS	90 名
・トワイライトステイ	15 名	・子育て支援解放	15 名	・育児相談	120 名

【運営(経営)方針】

教育・保育理念	Challenge	【学びに向かう力、人間性等】好奇心を持って挑戦する子
	Global	【知識及び技能の基礎】いろいろな価値観を大切にできる子
	Love	【思考力、判断力、表現力等の基礎】思いやりのある優しい子

教育・保育ビジョン 6つの遊びの体験から心を育てる

6つの edutainment(楽習)

遊びの基地	(冒険心)	立腰教育	(自立心)	表現遊び	(自尊心)
体育ローテーション	(挑戦心)	サイエンス	(イマジネーション)	音楽遊び	(協調心)

【重点項目】

◆ 目標利用率

	2026 年度	2025 年度(見込)
教育・保育課	80%	71%
一時預かり事業	60%	44%
学童クラブ OURS	100%	100%
トワイライトステイ	50 人	41 人
OURS アカデミー	7 団体以上	7 団体

◆ サービス提供方針

児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)その他の子どもに関する法令に基づく施策と連携し、子ども及び子どもを養育する者に対し必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長できることもまんなか社会の実現に寄与することを目的として、令和 8 年度の事業を運営する。

その目的を達成するため、保護者・地域・関係機関と密接に協力し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、養護と教育を一体的に展開しながら、子どもの発達に応じた環境を整え、質の高い教育・保育サービスの提供と継続的な改善に努める。

◆ 財務基盤の強化に向けた取組み

前年度に実施した固定費・変動費の見直しの成果を検証し、引き続き経費構造の最適化を図るとともに、予算実績管理の徹底と月次収支分析を強化する。また、ICT 活用の効果検証を行い、業務効率化による人件費・管理費の適正化を推進する。さらに、中長期的な修繕計画及び積立金の計画的確保を進め、透明性と健全性を備えた持続可能な財務基盤の確立を目指す。

◆ 人材育成と職場環境の整備

醸成したチームワークと相互尊重を基盤とする職場文化をさらに深化させ、保育実践の振り返りや成果の共有を体系的に行うことで、組織全体の専門性と協働力の向上を図る。また、定期的な面談や意見交換の機会を充実させ、職員一人ひとりの成長と自己実現を支援する。加えて、業務改善や負担軽減の取組を進め、安心して長く働ける環境を整備し、こども園全体の持続的発展と子どもたちの健やかな未来を支える基盤を一層強化していく。

◆ 地域社会への取組み

地域に根ざした認定こども園として、子育て支援の拠点機能を担い、地域社会との連携強化に取り組む。未就園児親子への子育て支援室開放や子育て相談の実施、地域行事への参加を通じて、子育て家庭を包括的に支援する。また、小学校や関係機関との連携を深め、就学への円滑な接続を図るとともに、高齢者施設や地域団体との交流活動を通じて、多世代交流の機会を創出する。さらに、防災訓練や安全対策においても地域と協力し、安心・安全な環境づくりに貢献する。

地域との信頼関係を大切に、開かれた園運営を推進することで、子どもと家庭を支える地域共生社会の実現に寄与していく。

◆ 行事及び会議等

	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会	認定こども園 OURS の理念と約束について現場に出る心構え・保健研修・調乳指導おむつ交換研修・園の安全管理研修・立腰研修・各課連携研修 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・学年会議・給食会議
5月	子どもの日会・避難訓練 誕生会・不審者対応訓練 内科健診・歯科検診・検尿検査 むし歯予防教室	虐待対応研修・不適切保育について・情報管理研修 拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
6月	避難訓練・バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	熱中症予防研修・プライベートゾーンパーソナルスペース研修 拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練 おらがまち・誕生会・終業式 熱中症予防について	体育研修 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・学年会議・給食会議
8月	避難訓練・誕生会 視力聴力検査について 食事のマナー	災害研修 拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練 乳児課運動会・誕生会 幼児課運動会 ケガのお話・トイレの使い方	嘔吐処理研修・環境整備研修 拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
10月	避難訓練・オースタムキャンプ 誕生会・ハロウィンパーティー 目の大切さについて 予防接種について	アレルギー・エピペン研修 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・学年会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 不審者対応訓練 内科健診・うがい・手洗い指導	拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
12月	0・1歳児発表会・2歳児発表会 避難訓練・誕生会・幼児課発表会 終業式・クリスマス会 冬の過ごし方について 保健室の先生のお仕事	乳幼児揺さぶられ症候群研修・緊急時対応研修 拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
1月	始業式・避難訓練・誕生会 風邪予防・咳エチケット	給食研修・アレルギー研修 拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練・誕生会・造形展 バディクラスフリー参観 ブレイブクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 歯磨き指導・ケガのお話	KYT 研修 拠点会議・カンファレンス会議・学年会議・アレルギー会議・給食会議
3月	ひなまつり会・避難訓練・遠足 誕生会・卒園式・終業式 ふわふわちくちくのお話 いのちのお話	環境整備研修 拠点会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・学年会議・給食会議

19. 認定こども園 OURS 館山

【定員】

・教育保育課 294 名 ・一時預かり事業 12 名

【運営(経営)方針】

教育・保育理念 Challenge 【学びに向かう力、人間性等】好奇心を持って挑戦する子
Global 【知識及び技能の基礎】いろいろな価値観を大切にできる子
Love 【思考力、判断力、表現力等の基礎】思いやりのある優しい子

教育・保育ビジョン 6つの遊びの体験から心を育てる

6つの edutainment(楽習)

遊びの基地	(冒険心)	立腰教育	(自立心)	表現遊び	(自尊心)
体育ローテーション	(挑戦心)	サイエンス	(イマジネーション)	音楽遊び	(協調心)

【重点項目】

◆ 目標利用率

	2026 年度	2025 年度(見込み)
教育・保育課	95%	91%
一時預かり事業	70%	65%

◆ サービス提供方針

少子化社会において一人ひとりの子どもを大切に、きめ細かな教育・保育を提供する。地域に開かれた認定こども園として、保護者支援および地域子育て支援機能を強化し、安心して子育てできる環境づくりに努める。OURS で培ったノウハウを、館山市の子育て支援(周産期母子支援～子育て)の連結として生かし、貢献する。

こども・子育て世帯のニーズに沿った切れ目のない支援提供を実現し、子育て相談の対応や子育て世帯が必要としているサービスを提供する。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

今後の少子化の進行を見据え、単年度収支の均衡のみならず、中長期的な経営の安定を重視する。園児定員の充足率向上を目標に掲げるとともに、教育・保育の質の向上による選ばれる園づくりを推進する。さらに、人件費比率の適正管理、業務効率化の推進、ICT 活用による事務負担の軽減などを通じて、持続可能な経営体制を確立する。

◆ 人材育成と職場環境の整備

子どもを中心とした教育・保育の実現のために、人材育成と職場環境の整備を両輪として取り組む。計画的な研修や OJT を通して職員の専門性を高めるとともに、互いに学び合い、支え合う組織づくりを進める。あわせて、業務の効率化や適切な労務管理を行い、安心して長く働ける職場環境の整備に努め、職員が心身ともに健康で働ける環境を整える。

◆ 地域社会への取組み

- ・地域のどなたでも利用できるこども園を運営する。さらに、こども園で提供できない子育て関連サービスを、簡単な手続きで提供する。時代が求める新しいサービスを開拓し続ける。
- ・地域とのつながりを深める取り組みとして、毎年夏に「おらがまち(夏祭り)」を開催する。園児や保護者だけでなく、地域の方々にもご参加いただき、屋台や盆踊り、手作りゲームなどを通じて楽しいひとときを共有する。
- ・地域の教育機関との連携を深める取り組みとして、毎年小学校との合同避難訓練を実施する。園児と小学校の児童と一緒に避難経路を確認し、緊急時の安全な行動を体験することで、子どもたちの防災意識を高める。

◆ 行事及び会議等

	行事・保健計画	研修・会議
4月	入園式・始業式・進級式 避難訓練・誕生会 手洗い・トイレの使い方指導	認定こども園 OURS 館山の理念と約束について現場に出る心構え・保健研修・調乳指導おむつ交換研修・園の安全管理研修 各課連携研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
5月	子どもの日会・避難訓練 親子遠足・誕生会 不審者対応訓練 手洗い・トイレの使い方指導	虐待対応研修・情報管理研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
6月	北条小合同総合避難訓練 バディクラスフリー参観 プレイクラスフリー参観 セージクラスフリー参観・誕生会 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	体育研修・救急救命研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
7月	七夕会・避難訓練・海遊び おらがまち・誕生会・終業式 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	立腰研修・選択制保育実技研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
8月	避難訓練・誕生会 ウォーターフェス 歯磨き指導・プールの約束 プライベートゾーンの話	防災計画・災害研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
9月	始業式・総合防災訓練 乳児課児運動会 誕生会・幼児課運動会 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	個別指導計画・各日誌の書き方 総合防災訓練研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
10月	避難訓練・オースタムキャンプ 誕生会・ハロウィンパーティー うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット・怪我予防	KYT 研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議
11月	避難訓練・遠足・誕生会 不審者対応訓練・怪我予防 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット	OURS 研修・嘔吐処理研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
12月	乳児課発表会 避難訓練・誕生会 幼児課発表会 終業式・クリスマス会 うがい・手洗い指導・目の大切さ 鼻のかみ方・咳エチケット 怪我予防	救命救急研修・母乳育児研修 給食研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
1月	始業式・総合防災訓練・誕生会 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	エビペン研修・6つの楽習研修 マーチング研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
2月	節分会・避難訓練 誕生会・造形展 バディクラスフリー参観 プレイクラスフリー参観 セージクラスフリー参観 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	子どもの怪我の対応研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・給食会議
3月	ひなまつり会・避難訓練・遠足 誕生会・卒園式・終業式 歯磨き指導・こころの話 耳のはたらき	環境整備研修 幹部会議・カンファレンス会議・委員長会議・アレルギー会議・委員長会議・給食会議

20. OURS baby

【定員】

- ・入所 114 名
- ・一時預かり事業 8名

【運営(経営)方針】

保育・教育理念 Challenge 【学びに向かう力、人間性等】 好奇心を持って挑戦する子
Global 【知識及び技能の基礎】 いろいろな価値観を大切にできる子
Love 【思考力、判断力、表現力等の基礎】 思いやりのある優しい子

教育・保育ビジョン 6つの遊びの体験から心を育てる

6つの edutainment(楽習)

遊びの基地 (冒険心)	立腰教育 (自立心)	表現遊び (自尊心)
体育ローテーション (挑戦心)	サイエンス (イマジネーション)	音楽遊び (協調心)

◆ 目標利用率

	2026 年度	2025 年度(見込)
入 所	72.5%	71.0%
一時預かり事業	200 人(延べ)	129 人(延べ)

◆ サービス提供方針

児童福祉法および保育所保育指針の趣旨を踏まえ、子どもの最善の利益を第一に考えた保育を実践する。

1.子どもの主体性を尊重する保育

一人ひとりの発達段階や個性を理解し、子どもが自ら考え、選び、行動できる環境を整える。

2.安心・安全を基盤とした保育

心身ともに安心できる環境を整備し、愛情と信頼関係を基盤とした保育を行う。

3.基本的生活習慣の確立

食事・睡眠・排泄・清潔など、健やかな成長に必要な生活習慣を丁寧に育む。

4.豊かな人間性の育成

友達との関わりや集団生活を通じて、思いやり・協調性・社会性を養う。

5.食育の推進

食への関心を高め、健康な身体づくりを支援する。

6.家庭との連携重視

保護者と密に連携し、子どもの成長を共に支える。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・保護者や子どものニーズに応える保育を提供し、子育て世代から選ばれる保育所を目指すと共に稼働率の向上に繋げる。
- ・提携企業と連携し、入所の対象となる子どもの人数を把握し、保育士等の適正な人員配置に努める。
- ・費用対効果を重点に置き、資源の有効活用や SDGs に取り組み、必要な経費と無駄な経費を常に検証し安定経営に努める。

◆ 人材育成と職場環境の整備

人材育成

- ・教育・保育理念の実現に向けて職員一人ひとりの専門性向上と組織力強化を目的とした体系的な人材育成を推進する。子どもの最善の利益を保障する質の高い保育を提供するため、OJT と外部研修を組み合わせた継続的な研修体制を整備し、職員の成長段階に応じた育成を行う。特に外部研修では、企業主導型保育事業実施要綱に定められているキャリアアップに向けた研修の受講を重点に置き、資質向上に向けた取り組みを実践する。
- ・不適切な保育を未然に防ぐため、保育従事者へ人権擁護のためのセルフチェックを実施し、保育に対する振り返りの機会を設け、自己研鑽に取り組める環境を構築する。

職場環境

- ・ICT や AI を活用し業務効率化や生産性向上に努め、煩雑となっている業務を改善し、働きやすい職場環境の構築と離職防止に繋げる。

◆ 地域社会への取り組み

- ・子育て世代が安心して仕事と子育てが両立できるよう保育所の機能を最大限に提供し、誰もが仕事と生活の調和が取れた働き方ができる社会の実現に向け取り組む。
- ・太陽会や提携企業の従業者を確保するための取り組みに、保育所として可能な限り貢献していく。
- ・鴨川市と連携し、一時預かり事業や保育所利用枠（地域枠）で利用子どもを受け入れ、待機児童を未然に防ぐ取り組みを実践し地域社会に貢献する。

◆ 修繕及び施設・設備整備

- ・園庭設備の整備

◆ 行事及び会議等

- ・避難訓練及び消火訓練等は、毎月 1 回以上実施する。
- ・行事について
年間行事計画書を立案し、計画に則り実施する。
- ・保健について
保健計画書を立案し、計画に則り実施する。
- ・会議について
職員会議・給食会議・各種委員会等会議は、毎月 1 回以上実施する。

21. 家事代行サービス ルアナ

【事業種別および定員】

- ・IL 一般居室 409 室(235 室 290 名)
- ・AL 介護居室 64 室(22 室 22 名) ()内は 2026 年 2 月末現在の入居者数

※IL・AL 含め契約総数 173 件

【運営方針】

「一人ひとりの、自由で豊かな暮らしを支える」という三井パークウェルステイトとしてのブランドコンセプトの一翼を担うべく、お客様の生涯の暮らしに家族のように寄り添い続け、様々なニーズにサービスを提供する。

◆ 目標契約数

	2026 年度	2025 年度(見込)
月 1 時間プラン	45 件	45 件
月 2 時間プラン	45 件	42 件
月 3 時間プラン	5 件	4 件
外出プラン	80 件	70 件
スポットプラン	15 件	12 件
売上実績(全プラン)	2,200,000 円	2,068,000 円

◆ サービス提供方針

- ・パークウェルステイト鴨川に常駐する職員が、ご契約者お一人おひとりのご希望に合わせて、安心して利用出来るサービスを提供する。
- ・介護フロア職員が家事代行サービスを提供することで、将来介護フロアに移り住みとなった場合でも、不安や心配が軽減されるよう日頃からのコミュニケーションを大切にし、良好な関係性を構築する。
- ・できる限りレジデンス内でサービスが完結できるよう、難しい業務依頼であっても「どうすれば対応できるか」を模索・検討し、契約に結びつける。

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・無料サービス(お試しプラン)の実施等で、財源となる新規ご契約者の獲得を目指す。
- ・ご契約者に見合ったサービスプランを初回、または利用途中であっても随時提案し、快適な生活を送るための援助を行う。
- ・需要の増えている受診付添サービスに対して、ルアナとして積極的に顧客契約を伸ばしていくか検討は必要だが、この業務に特化した人材の確保にて収入の見込みを増やすことも検討する。
- ・家事代行サービスの物品担当者を中心に、必要な道具や物品の在庫管理を徹底し、必要数のみを発注し、無駄となり得る物品を無くす。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・太陽会職員が自費サービスとなる家事代行サービスを行うことの意義を、スタッフ間で意識し長く継続できるサービスとする。
- ・ご契約者ごとの契約内容をマニュアル化し、随時更新及び情報共有していく。
- ・今後も増員される職員が多数予定されており、どの職員が実務にあたってもサービスの質の低下が発生しないようマニュアルを活かしながら教育を実施する。
- ・主となる介護フロア業務を圧迫しないよう、契約者数の推移を追いながら、スタッフの配置等を協議する。
- ・居室内清掃については主婦歴の長い職員を中心に、ある程度の固定した職員で担当調整をし、顧客となるご契約者の満足感を高めるよう配慮する。
- ・三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社との人員契約があるため、介護フロアで業務にあたる職員と家事代行サービスを行う職員との明確なすみ分けを構築できるかを今年度の最重点課題とする。

◆ 地域社会への取組み

- ・受診等、外出付き添いの頻度が年々高まっている現状があり、ルアナだけでは対応できない場合も多く、IL ご入居者で介護保険サービスを利用されている方を中心に、現在も市内の自費サービス事業所とも連携し、ご契約者にサービスが行き届かないことがないように、環境を整えていく。

22. 労働者派遣事業サンキャリ 有料職業紹介事業サンキャリ

【事業および登録者数】

○労働者派遣事業

- ・派遣先：亀田総合病院、東条病院、鴨川国保病院、ラビドール御宿（有料老人ホーム）、花の里（特別養護老人ホーム）、夢くらぶ（介護老人保健施設）、ポピー（特別養護老人ホーム）
- ・派遣登録者：日本語学科 20 名、介護福祉学科 61 名
- ・卒業生・卒業者：2026 年 3 月卒業予定 7 名、2025 年 3 月卒業者 5 名

○有料職業紹介事業

- ・本年度の事業利用人数はなしと予定する。

【運営方針】

安房医療福祉専門学校南房総校と連携し、外国人留学生が安心して学べる仕組みを構築することで、質の高い介護人材を育成する。単なる労働力の補填ではなく、教育課程を経た専門人材を派遣することで、地域の介護福祉士不足解消という社会福祉法人としての責務を果たしていく。

2027 年 3 月には介護福祉学科から 33 名の卒業生を予定しており、そのうち 20 名程度を正職員として地域へ派遣するための受け皿を確保する。なお、2027 年度までの介護福祉士養成施設卒業生は、国家試験の可否にかかわらず資格取得が可能である強みを活かし、早期の戦力化を図る。

一人の外国人をプロの介護福祉士に育てるには多大な時間と費用を要すが、派遣事業を通じて育成費用を適切に回収し、人材育成のサイクルを持続可能なものとする。派遣労働者を大切に育み、長期的な定着を促すことで、法人の負担軽減と地域社会への貢献を両立する。

◆ 良質なサービス提供への取組み

【教育の充実】

派遣スタッフに対しては、業務上のルールに留まらず、日本の介護現場に求められる高い接遇・倫理観の教育を徹底する。

- ・ **専門性の担保：** 個人情報取り扱い、接遇（言葉遣い・所作）、チームワーク、感染対策など、技能実習や特定技能とは一線を画す「質の高いサービス」を提供できるよう指導する。
- ・ **適応支援：** 指導の受け方やコミュニケーションなど、現場での円滑な連携に欠かせないスキルの習得を支援し、派遣先から信頼される人材を送り出す。
- ・ **就業環境の拡大：** 地域での円滑な業務遂行と生活の利便性向上のため、自動車やバイクの免許取得についても援助を行い、機動力のある人材を育成する。

◆派遣目標

(派遣地域:実人数)

	2026 年度(目標)	2025 年度(見込)
鴨川市	25	18
南房総市	5	7
御宿町	4	2
その他の地域(県北)	1	1

(雇用形態別派遣者数)

		2026 年度(目標)	2025 年度(見込)
アルバイト	日本語学科生	2	2
	介護福祉学科生	21	21
正職員		12	5

◆財務基盤の強化へ向けた取組み

【派遣手数料の設定】

外国人介護福祉士の養成には、以下のような多額の先行投資が必要となるため、それらを派遣手数料によって回収することにより、本会の人材育成事業を安定的かつ持続可能なものにしていく。

- **受入・生活基盤の整備：** 海外紹介事業者への手数料、学生寮の確保・整備
- **修学支援：** 日本語学科学費および寮費の奨学金制度(3年間の勤務による返済免除あり)
- **環境維持：** 学校への通学バス運行やアルバイト先への送迎にかかる車両維持・運行費用

◆適正人員に向けた取組み

【派遣労働者の離職防止・その他】

- **多角的サポート：** 24時間365日の相談窓口設置や4ヶ月に1度の定期面談、食事会等の交流会を通じ、孤立を防ぎ精神的な安定を図る。
- **キャリア形成：** 評価制度を導入し、意欲のあるスタッフが正職員として地域に定着できるよう、キャリアパスを明確化する。
- **事業の継続性：** 派遣事業者免許の更新手続きを確実に行之、安定的な事業運営を継続する。

23. パークウェルステイト鴨川

【事業種別および定員】

・IL 一般居室 409 室(235 室 290 名)

・AL 介護居室 64 室(22 室 22 名)

計 473 室

()内は 2026 年 2 月末現在の入居者数

【運営方針】

一時的な疾病時の介護・看護はもちろん、万一、常時介護が必要になった場合には、レジデンス内に介護フロアがあり、介護・看護スタッフが24時間見守る介護居室にて行き届いたケアサービスを提供する。住み慣れた「パークウェルステイト鴨川」からお引越しいただくことなく、将来にわたりお支えする。

また、一般居室から介護居室に移り住みになった場合でも、今までの生活を重視し、その人らしい生活が維持できるようレジデンス全スタッフで専門性の高いサービスを提供する。

【重点項目】

◆ 目標利用率

	2026 年度	2025 年度(見込)
AL 介護フロア (人)	29	23
IL 特定契約者 (人)	6	4

◆ サービス提供方針

- 一人ひとりの、自由で豊かな暮らしを支える“シニアのためのサービスレジデンス”
- 10 年後も 20 年後も、災害などの万が一のときも、守ってくれる安全なすまい
- ・健やかな心身が保てる快適さと、豊かな気持ちになれる上質さに包まれた暮らし
- ・習慣やこだわりなど、これまでと変わることなく自分のスタイルで、暮らしたいように暮らせる自由な暮らし
- ・一人になったら、病気になったら、介護が必要になったら...これらの不安から解放された、最後まで安心が続く暮らし

◆ 財務基盤の強化へ向けた取組み

- ・1.5:1 以上の手厚い人員配置を継続させるため、レジデンス全体での定例会議の開催、および無理のない範囲での増員計画を実施する。
- ・介護人材不足の問題が今後さらに加速していく中で、課題となっている外国人雇用が実現できるよう継続的に提案・交渉する。
- ・AL 介護フロアのご入居者のみならず、IL 一般居室ご入居者からの要望の高い家事代行サービス(自費サービス)を長く提供できるよう、多様なニーズに対して可能な限り柔軟に対応する。また、サービスの質の向上を目的とした職員の教育に努める。

◆ 人材育成と職場環境の整備

- ・安全を最優先に、看護・介護の質を高める教育を実施する。
- ・パークウェルステイト鴨川だからこそ出来る個別性の高いケアやサービスを構築する。
- ・教育マニュアルを整備し、安定したケアやサービスが提供できるようにする。
- ・ICT 化を進めムダな業務を削減し、生産性を向上する。
- ・個別性の高いケアを他施設でも実践できるよう、将来的に職員のローテーションを実施し太陽会として質の高いサービス基準を獲得する。
- ・現在働いている職員を大切に、職場環境を整備し離職防止に努める。
- ・日頃からのコミュニケーションを大切に、いつでも相談できる環境、なんでも言い合える関係性を構築する。
- ・体調不良者の対応や、夜間帯の IL 一般居室での緊急対応など、看護師の担う役割が大きいため外部研修などでスキルアップ向上を図る。
- ・特定施設であるが故、現状の体制では対応できない看取りがある。その点をカバーできる亀田総合病院在宅診療科と介護棟看護師による看取り体制の実現に向け介護棟看護力の底上げと運用調整を行う。

◆ 3 階フロアオープン準備

- ・3 階介護フロアのオープンに向けた人員確保を計画的に実行する。
- ・開業から 4 年間の経験を活かし、設備や備品等しつらえただけではなく、機能性も考慮した上でムダのないアイテムを選定する。
- ・様々な想定をした上で、根拠を持って職員の増員計画を立て、IL 一般居室・AL 介護フロア共に安定したサービスの提供に努める。
- ・新しい職員が増えていく中で、サービスの質が低下しないよう役職者中心にしっかりと教育を実践していく。
- ・職員数が増えていく中で、日々の情報共有が漏れることなく周知できるよう組織を形成する。
- ・見守りシステムやインカムなど、ICT を活用した働き方に移行することでご入居者・ご家族様の安心・安全につながるケアとなるよう働きかける。

◆ 地域社会への取組み

- ・移動販売やイベント開催など、地域資源を活用しご入居者の満足度向上と地域との結びつきを形成する。

◆ 行事及び会議等

- ・三井の企画チームとも連動し、月に 1 回以上イベントを開催する。IL 一般居室ご入居者と一緒に参加できる催しにも希望に合わせ参加していく。
- ・レジデンスにある資源(屋上庭園、カラオケルーム、ホールなど)を活用し、部屋にこもらずアクティブな生活を送れるよう支援する。
- ・法令で定められている会議体を主に、レジデンスで働くすべてのスタッフ対象に定期的に実施していく。

24. 亀田ホームクリニック幕張

亀田ホームケアサービス幕張

【三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社 コンセプト】

豊かな自然に彩られ、都市の利便性にも満たされる街、幕張新都心に首都圏最大級のシニアサービスレジデンスが誕生。多彩な共用施設は中庭や外庭に面する緑に包まれた空間とし、敷地内どこにいてもゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

【パークウェルステイト幕張ベイパークの概要】

1.所在地 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-23

2.名称/用途 パークウェルステイト幕張ベイパーク / 住宅型有料老人ホーム

3.住居者数 約 738 名

4.定員 自立居室 534 室 (277 室 362 名)
介護居室 83 室 (6 室 6 名)
計 617 室

()内は 2026 年 2 月末現在の入居者数

【運営方針】

三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社が運営する「パークウェルステイト幕張ベイパーク(2024 年 9 月 1 日開業)」内に、クリニックと介護保険関連の事務所を開設し、ご入居者をはじめ、地域住民の皆様に向けて、安心して末永く暮らせるようなサービスを提供する。

【クリニックの業務内容】

パークウェルステイト幕張ベイパークのご入居者に向けて、健康管理や健康相談等をサポートし、いつまでも安心して住み続けられるように医療を提供しつつ、地域にお住まいの方々への地域医療にも貢献する。

1.名称 亀田ホームクリニック幕張

2.標榜科 内科／小児科

3.診察時間

	月	火	水	木	金	土・日・祝
8:45～10:00	入居者優先時間					—
10:00～12:00	○	○	○	○	○	—
13:30～17:00	○	○	○	○	○	—

4.業務内容

1)一般診療

2)健康診断

入居前健康診断、入居者基本健康診断、千葉市特定検診

千葉市がん検診(胃がんリスク、大腸がん、肝炎)

3)予防接種

千葉市小児定期予防接種、千葉市高齢者定期予防接種

各種予防接種事業(インフルエンザ、コロナ、肺炎球菌など)

4)訪問リハビリテーション

5.クリニック事業計画(単位:人)

月次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
外来	700	700	800	800	800	800	900	900	900	800	800	700	9,600
入居者定期健診	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	8	8	80
訪問リハビリ	19	21	23	24	25	26	28	30	31	32	33	35	327

【亀田ホームケアサービス幕張の概要】

三井不動産レジデンシャルウェルネス株式会社より委託を受け、各事業がパークウェルステイト幕張ベイパークのご入居者を中心にサービス提供を行う。

潜在ニーズの発掘をカンファレンス等で行い、介護保険サービスを中心にいつまでも見守りができる体制を整え、介護職員や看護職員、レジデンスの職員と協働して支援する。

介護フロアでは、フェーズ2(入居者14～26名)に移行することが確実となる。介護職員、看護職員の業務内容がフェーズ1とは変わるため、限られた職員の中で効率良く業務が行えるようにAIや端末を上手に活用し、ご入居者に質の高い介護・看護サービスを提供する。

訪問介護・看護では、ニーズを把握した上でサービス提供し、安心して住み続けられるように支援する。

1. 事業内容

○有料老人ホーム介護棟での見守り相談サービス(介護・看護・相談)

○介護保険サービス

2. 保険サービス区分別目標

1) 居宅介護支援(単位:人)

月次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	318
予防	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	198
計	35	36	38	39	41	42	44	45	47	48	50	51	516

2) 訪問介護(単位:人)

月次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	12	13	14	15	16	17	17	18	18	19	19	20	198
総合事業	8	9	9	10	11	12	12	13	13	14	15	15	141
計	20	22	23	25	27	29	29	31	31	33	34	35	339

3) 訪問看護(単位:人)

月次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	14	113
医療	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	19
計	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	16	132

4) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(単位:人)

月次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	8	9	10	11	12	13	14	15	15	16	16	17	156